



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月30日

上場会社名 ブルドックソース株式会社

上場取引所 東

コード番号 2804 URL <http://www.bulldog.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 章子

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 佐藤 貢一

TEL 03-3668-6811

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	12,495	1.0	752	43.9	913	49.7	533	97.3
25年3月期第3四半期	12,368	△3.2	522	△37.1	610	△34.7	270	△43.6

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,095百万円 (314.4%) 25年3月期第3四半期 264百万円 (△12.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	7.81	—
25年3月期第3四半期	3.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	21,527	16,203	75.3	237.12
25年3月期	20,562	15,348	74.6	224.60

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 16,203百万円 25年3月期 15,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	1.50	—	2.00	3.50
26年3月期	—	1.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.00	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	1.1	850	17.0	1,000	19.7	550	9.2	8.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」を参照してください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	69,774,401 株	25年3月期	69,774,401 株
26年3月期3Q	1,438,358 株	25年3月期	1,438,358 株
26年3月期3Q	68,336,043 株	25年3月期3Q	68,753,232 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融政策への期待感、円安による輸出環境の改善等を背景として、景気は緩やかな回復基調の兆しが見受けられる一方、円安の影響による原材料価格の高騰や海外市場の不透明感といった懸念材料も多く、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品業界におきましても、株価上昇等による消費マインドの改善が耐久消費財など一部では見られるものの、原材料価格の高止まりや消費増税への懸念から依然として節約志向が強く、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、安全・安心・信頼できる、お客様に幸福感を味わっていただける商品を提供することを経営理念とし、生産体制をはじめとした事業基盤の強化に努めてまいりました。また、新たに制定された「ソースの日（11月7日）」にあわせて、工場ふれあい会やレシピコンテスト、料理教室などのイベントを実施し、ソースの正しい知識や使い方の訴求に取り組んでまいりました。

ブルドックソースにおいては、ソース本来のもつ魅力をさまざまなソース料理のメニューを通して、より多くのお客様に提案し、主力商品であるウスター・中濃・とんかつソースの価値を訴求してまいりました。業務用商品においては、中食・惣菜部門のお客様に対してメニュー提案型の新規顧客獲得に注力してまいりました。

イカリソースにおいては、鉄板メニューをテーマにした食品流通店舗様向け大陳コンテストの実施など、主力のウスターソース類商品とともに専用ソースの積極的な店頭プロモーションを行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、対前年同期比1億2千6百万円増加し、124億9千5百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

利益面につきましては、営業利益は7億5千2百万円（前年同期比43.9%増）、経常利益は9億1千3百万円（前年同期比49.7%増）、四半期純利益は、5億3千3百万円（前年同期比97.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億6千5百万円増加し、215億2千7百万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金の減少などはあったものの、受取手形及び売掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて1億1百万円増加し、85億8千9百万円となりました。

固定資産につきましては、投資有価証券の増加などにより、前連結会計年度末に比べて8億6千4百万円増加し、129億3千7百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べて、1億9百万円増加し、53億2千3百万円となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて9千4百万円増加し、34億6千3百万円となりました。

固定負債につきましては、長期借入金の減少などはあったものの、繰延税金負債の増加などにより、前連結会計年度末に比べて1千4百万円増加し、18億5千9百万円となりました。

純資産は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて、8億5千5百万円増加し、162億3百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成25年10月25日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,228	3,167
受取手形及び売掛金	4,371	4,663
商品及び製品	398	403
原材料及び貯蔵品	80	107
仕掛品	28	18
繰延税金資産	325	172
その他	56	57
流動資産合計	8,488	8,589
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,008	1,908
機械装置及び運搬具(純額)	888	781
土地	2,711	2,711
建設仮勘定	—	202
その他(純額)	69	90
有形固定資産合計	5,677	5,694
無形固定資産	53	40
投資その他の資産		
投資有価証券	5,833	6,715
その他	566	545
貸倒引当金	△58	△58
投資その他の資産合計	6,341	7,202
固定資産合計	12,073	12,937
資産合計	20,562	21,527

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,694	1,852
1年内返済予定の長期借入金	310	270
未払法人税等	89	153
未払費用	955	918
賞与引当金	181	93
その他	138	175
流動負債合計	3,369	3,463
固定負債		
長期借入金	470	200
繰延税金負債	340	618
退職給付引当金	840	838
長期未払金	166	166
その他	26	36
固定負債合計	1,844	1,859
負債合計	5,214	5,323
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,044	1,044
資本剰余金	2,564	2,564
利益剰余金	11,787	12,082
自己株式	△534	△534
株主資本合計	14,862	15,156
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	485	1,047
その他の包括利益累計額合計	485	1,047
純資産合計	15,348	16,203
負債純資産合計	20,562	21,527

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	12,368	12,495
売上原価	5,978	6,012
売上総利益	6,389	6,482
販売費及び一般管理費	5,867	5,730
営業利益	522	752
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	109	113
投資有価証券売却益	9	51
その他	8	7
営業外収益合計	127	172
営業外費用		
支払利息	15	10
貸倒引当金繰入額	22	—
その他	1	0
営業外費用合計	39	10
経常利益	610	913
特別利益		
投資有価証券売却益	19	2
特別利益合計	19	2
特別損失		
固定資産除却損	2	13
投資有価証券評価損	66	—
関係会社出資金評価損	49	—
たな卸資産廃棄損	—	23
その他	0	—
特別損失合計	119	36
税金等調整前四半期純利益	510	879
法人税、住民税及び事業税	240	345
法人税等合計	240	345
少数株主損益調整前四半期純利益	270	533
少数株主利益	—	—
四半期純利益	270	533

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	270	533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	561
その他の包括利益合計	△6	561
四半期包括利益	264	1,095
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	264	1,095
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、ソース類の製造販売事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため記載を省略しております。